

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000				
項	01 商工費							所属課名	商工課				
目	02 商工業振興費							内線番号					
大	060 都市エリア産学官連携促進事業	0	2,000	2,000	2,000	0	0	実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額			
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
小	00		0	0	0	0	2,000						
細	0		0	0	0	0	2,000						
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳					
<p>【事業概要】地域の主体性のもと、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成を図る。平成18年4月、鳥取県が提案した「染色体工学技術による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発」が文部科学省に採択され、平成18年6月から事業開始。当該事業は、食品製造業が集積している米子・境港エリアの特性を生かした産学官共同研究。【参画機関】鳥取大学、県産業技術センター、民間企業11社(内、市内企業5社)【事業機関】H18~20年度</p> <p>【必要性】1. 鳥取大学の先端技術と地元企業等が有する水産バイオマスの独自技術が連携し、新産業を創出するものであり、本市への大きな経済効果と健康長寿社会の発展に大きく貢献すると見込まれる。2. 国費は地域資金の額によって決定されるため、地域資金の確保が全体事業費を担保する必須条件になっている。</p>								節		本年度の財源内訳			
								区分		金額		財源	款
								19	負担金補助及び交付	2,000			
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
<p>1. ヒト染色体ベクターを利用した機能性評価技術の開発研究の開始</p> <p>2. 動物・ヒト臨床による機能性評価法の開発研究開始</p> <p>3. 水産資源からの機能性食品素材・食品の開発</p> <p>4. マーケティング・技術開発動向調査の実施</p> <p>5. 研究成果発表会(シンポジウム)、研究交流会、食品開発と健康に関する研究会の実施</p> <p>6. 科学技術コーディネータによる研究成果の推進と研究成果の事業化に向けての活動開始</p>													
6. 財源の説明													
【財源内訳】													
・全体事業費 350,475千円 (H18年度 116,593千円)													
【事務事業評価】													
平成18年度(新規)事務事業評価表を企画課に提出。													
目的別 性質別													